



日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発行】
岡野長寿
(0845-22-2596)
三浦とおる
(0848-48-5044)

中国は社会主義をめざす国とは言えない！ -新しい綱領の一部を改定する提案を審議-

日本共産党は1月の党大会成功めざし、党勢拡大運動を展開中。議員団では大会議案を審議中で、注目されるのは核兵器禁止条約に反対の立場をとる中国を社会主義をめざす国と言えぬのかどうか、発達した資本主義国における社会主義・共産主義の未来こそ、マルクスが想定した道筋、ここを大きく打ち出し、格差と貧困、資源、気象問題など資本主義の下で解決困難な課題をどうするか、先進国への未来社会への移行を焦点にあてて、希望ある社会建設への国民的合意形成のために奮闘する必要があるのではなか、等のことを話し合っています。

皆様の意見をぜひお寄せください。

発達した資本主義国から社会主義へ

資本主義のもとで作り出された①高度な生産力②経済を社会的に規制・管理するしくみ③国民の生活と権利を守るルール④自由と民主主義の諸制度と国民

のたまたかの歴史的経験⑤人間の豊かな個性などの成果を継承・発展することに よって、実現する(新しい綱領で強調)

中国の評価 核兵器・覇権主義・人権侵害

第一に、中国は核兵器保有5大国の一員として核兵器禁止条約への敵対の立場をとってきた。第二に、中国公船による尖閣諸島への領海侵入が常態化、南シナ海への大規模な人工島建設、軍事拠点化、第三に、国際会議での民主的運営を踏みにじる横暴なふるまい(二〇一六年

クアラルンプールで開催されたアジア政党国際会議総会で、全員一致で確認した核兵器禁止条約の速やかな交渉開始の呼びかけを最後になって、一方的に覆した(こと)第四に、香港の自由と民主主義を求める運動に対する武力による威嚇など

日本共産党を除くという壁が崩壊

大会議案第一議案と第二議案に共通するのは、日本共産党を除くという壁が大きく崩れ、野党共闘が進む中で日本共産党が重要な役割を果たしてきたこと

この情勢の変化の中で、党発展の可能性をつかみ、戦後最悪のアベ政権を倒すことを呼びかけています。

みうら君の生活一口メモ 年金がいくらもらえるのか不安です

皆さんお元気ですか 朝夕が寒く感じられる季節になりましたね。今週は、60代前半の働いている方からの相談です。「私は若い頃から転職や転居を繰り返して生活してきました。そろそろ年金をもらえる年になるとは思いますが、年金についての連絡がありません。いつから、いくらもらえるのか不安でなりません」とても心配な話ですね。どうすればよいのでしょうか。

先日、生活保護の申請をした時に、福祉事務所が年金事務所に問い合わせ、年金があることが発覚した70歳代のご夫婦がいらつしやいました。論外な話です。本来であれば、年金を受け取る権利が発生したら、国が責任を持って連絡するのがスジですね。

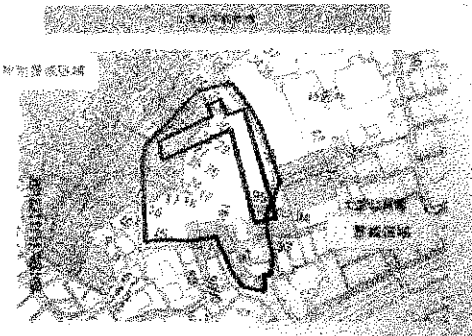
○続きは来週にします

久保・長江・土堂小の耐震化について市教委が説明会

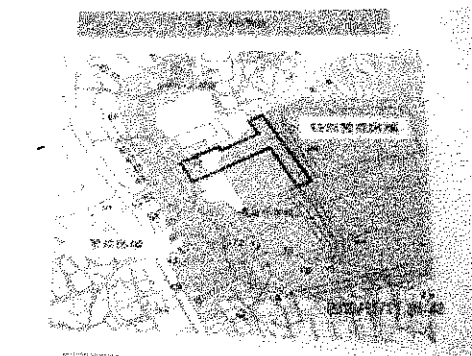
久保小に新校舎(R5年4月)、3校統合案を提案

11月5日市教委は「保護者の要望には応えられない面があるが、子どもの安全という観点から苦渋の判断を行った」と3校統合案を説明

しました。多くの傍聴者やマスコミが詰める中、岡野市長は「土砂災害の危険から子どもを守るためには、土砂防止壁などを構築しなければならぬ計画になっているが、子どもの負担が大きすぎる、多くの議員も指摘している。在校生に影響を及ぼさない方法という点では、R5年をR11年に伸ばす方法もあるがどうか」などの質疑を行いました。答弁は不能で今後正規の場で正します。



土堂小学校の特別警戒区



長江小学校の特別警戒区域

11月5日市教委は「保護者の要望には応えられない面があるが、子どもの安全という観点から苦渋の判断を行った」と3校統合案を説明